

福島工業株式会社

証券コード:6420

# FINE!

株主・投資家の皆さまへ

第65期 期末報告書

2015年4月1日～2016年3月31日

**Fukushima** 

フレッシュ・バリューをあなたとともに

# トップメッセージ



企業理念

環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指します。

## 第1項 生活者の幸せ

わたしたちは、環境・安全・安心をテーマに、お客様と協働し、生活者の「幸せ」に寄与することを基本使命とします。

## 第2項 お客様の幸せ

わたしたちは、独自の技術とシステムにより、フードビジネスに新しい価値を創造し、お客様の「幸せ」に貢献することを基本使命とします。

## 第3項 社員の幸せ

わたしたちは、自己責任能力を高め、自身と社業の成長を通じて、物心両面の「幸せ」を追求することを基本使命とします。

## 第4項 株主・お取引先の幸せ

わたしたちは、将来への目標を共有し、常に業績向上に努め株主やお取引先に「幸せ」を提供することを基本使命とします。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当社第65期(平成28年3月期)の事業活動の概況を、ご報告申し上げます。  
株主の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **福島 裕**

## —最高益を更新—

まずは、このたびの熊本地震により被災されました皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。被災地の皆様方の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当期は、政府の景気対策等の効果もあり、緩やかながら景気回復基調が続きました。また、円高基調へのシフトや中国経済の減速によるアジア経済の下振れ懸念などから景気の先行き不透明感が残りましたが、一部個人消費に回復基調が見られるなど明るい兆しも見られました。

当企業集団を取り巻く環境としましては、外食産業では、好調であったレストラン業態の売上が減少に転じたものの、ファーストフード業態の売上が増加し、総じて堅調に推移いたしました。また、流通産業では、コンビニ、スーパーマーケット、ドラッグストアなど業態を超えた競争は激しくなりましたが、スーパーでは引き続き食料品の売上が堅調なことや、コンビニでは淹れたてコーヒーなどのカウンター商材や弁当・調理

麺などの中食が好調で客数が伸びるなど売上は前年比プラスで推移いたしました。

そのような中、当企業集団の業績は、外食チェーン店の出店増加による汎用業務用冷凍冷蔵庫の売上が伸びたほか、チップアイス製氷機や自動洗浄機付きプラスチックラ、ドゥコンディショナーといった当社の戦略商品が売上を伸ばしました。また、コンビニ業界の再編が進む中、コンビニ向け省エネショーケースの販売に注力し、新規顧客の獲得や既存顧客のエリア拡大を図りました。さらにグループ会社であるFSPや高橋工業ならびに省研と当社エンジニアリング事業部がシナジー効果を発揮したことにより、大型案件の売上が伸びました。

その結果、単体、連結ともに売上高および当期純利益において過去最高の数字を達成することができました。

## —70周年に向けて—

当社は、今年12月で創立65周年を迎えます。これもひとえにお客様をはじめ、株主

様や関係各位の皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

今年度から次の目標へ向けた5ヶ年の中期ビジョンがスタートします。更なる飛躍を図るため国内においては、製品の製造・販売だけでなく、東西のサービスセンターを中心にサービタイゼーション事業を進めるため、人的投資やシステム投資を進めてまいります。また、海外においては、タイの冷蔵庫工場が稼働したことで北京と合わせて海外における製造・販売を一層強化していき、ASEAN諸国へ当社の安心・安全技術を広めてまいります。

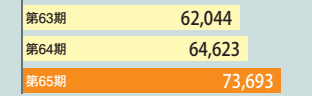
今後も当社の技術力を更に発展させ、冷蔵庫やショーケースといった製品を販売するだけでなく、当社製品を使用くださるお客様や、その先の生活者の皆様の食生活に安心と安全を届け、ひいては社会に貢献できるよう、グループ一丸となって日々邁進してまいります。

株主の皆様には今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第65期連結決算(単位:百万円)

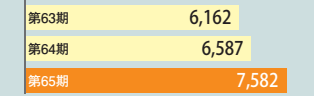
売上高

**73,693** 前年同期比 14.0%増



営業利益

**7,582** 前年同期比 15.1%増



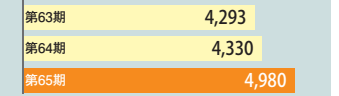
経常利益

**7,676** 前年同期比 8.4%増



親会社株主に帰属する当期純利益

**4,980** 前年同期比 15.0%増



# 特集



新システム導入で、  
サービスが大幅に向上!



## 関東サービスセンターを開設。

2016年2月、千葉県船橋市に関東サービスセンターを開設。コールセンター、社員研修センター、冷凍冷蔵機器の部品庫などを備えています。サービスの充実を図るため、今後は東西のサービスセンターを中心に人員を5年間で倍増する予定です。

### コールセンターは24時間365日稼働。 電話対応の件数・効率がアップ。

関東サービスセンターのお客様は、東京23区を中心に全国チェーン展開している店舗様が大半です。コールセンターは、24時間365日体制でサポート。メンテナンス・工事は、できる限り自社社員が対応しています。2020年には、外環道が完成予定です。開通すれば、北関東地域まで短時間で移動でき、関東一円をカバーできるようになります。

今後は、検証に力を入れ、より良い製品・施工を目指します。顧客情報、メンテナンス情報を分析し、サービス・施工・製造・営業にフィードバックする。コールセンターが『フクシマの顔』になるよう地位向上を推進します。

関東サービスセンター長 岡本 健



#### 関東サービスセンター概要

〒273-0028 千葉県船橋市海神町東1-1014-3  
開設:2016年2月

### より信頼される メンテナンス・サービスを提供。

フクシマ全体として打ち出しているのが、サービタイゼーション(製造業のサービス化)です。サービスを重視する戦略で、特に現場でのお客様への対応を重要視しています。

サービスに力を入れることで、サービスマンのモチベーションも高くなり、常にお客様第一の対応を実践できていると考えます。



サービス業務は、増加傾向にあります。今後は、お客様に満足していただくため、そしてサービス品質を落とさないためにもサービス技術者を増員・教育していくことが最も重要な課題です。



### 西の司令塔、関西サービスセンター。 大阪市西淀川区から西日本のお客様をサポート。

関西サービスセンターには、大別して3つの組織・機能があります。1つ目は、お客様から修理依頼・質問などを電話受付しサービスマンを手配する『コールセンター』。2つ目は、現地にて製品の修理を行う『カスタマーサポート』。3つ目は、スーパー・コンビニの新店や改装時に冷媒・電気工事などを行う『スタアビルダー』です。

関西サービスセンターを運営するにあたっていちばん大切にしていることは、お客様第一です。さらに、すべての社員がチームワーク良くいきいきと働けるよう、仕事を通じて人間性も育んでいきたいと思っています。

関西サービスセンター長 福島 仁



#### 関西サービスセンター概要

〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島2-13-23  
開設:2014年5月

# 関東サービスセンターと関西サービスセンター。 2ヶ所が連携し、全国のお客様をサポート。

東西のサービスセンターを司令塔に、素早く、正確にメンテナンスとサービスを提供する準備が整いました。これまでの遠隔監視サービスSネット24、エネルギー管理サービスBems-you、漏えい検知システムに、フロン管理台帳サービス、設備台帳システムなどを加え、包括的なサービスを提供します。



## サービス事業インタビュー



専務取締役  
営業本部長  
兼 東日本支社長  
福島 豪

### 自社サービスにこだわることで、 お客様の満足度を高めたい。

サービスセンターをつくるきっかけとなったのは、当社の九州地区のサービスモデルにあります。一般的に業務用機器メーカーでは、保守・メンテナンスは代理店様や地域の業者様にお任せすることが大半です。しかし九州地区では、自社のサービスマンの訪問率が非常に高く、お客様と深いお付き合いができていました。福島が社員が直接修理に向かうことで、お客様からの信頼も厚くなり、仕事の発注をいただくという好循環が生まれたのです。



このサービスモデルを大都市圏である東京・大阪で展開すれば、サービス事業の拡大が目指せるのではないか。サービスの充実を図ることは、何よりもお客様が望んでいることではないかと考え、関西・関東のサービスセンターの開設に至りました。

### 顧客情報をデータベース化し、 サービス向上に努める。

サービスセンターには、24時間365日対応のコールセンターがあります。これまで各営業所で行ってきた電話対応も、サービスセンターで一括することで全国均一な対応が可能となりました。顧客情報や修理履歴も集約されますので、修理の依頼があった際にもスムーズに対応できます。サービスに関するデータベースを作ることで、お客様の満足度の向上も目指します。

また、サービスセンターでは情報の分析も行っています。お客様の中には、すぐに修理に駆けつけるだけでなく、その修理内容の原因を分析・報告し、対策してほしいという方もいらっしゃいます。そのような要望にも応えられるよう、新たな仕組みも構築しました。



### 見積もりではなく、サービスで勝負する。 信頼が次の仕事につながっていく。

今後はITの力を駆使し、さらにサービスの対応力を高めたいと思っています。IoTを用い、各機器の運転状況や修理履歴を把握することで、事前に保守を予測できるシステムも構築しました。万一、製品に不具合があった場合でも、工場の品質管理のメンバーが即座に確認し対応できる仕組みも構築中です。

福島工業は、単なるメーカーになるのではなく、常にお客様と向き合える企業を目指しています。お客様のお役に立つためには、何をすればいいのか。それを突き詰めると、サービス事業が最も重要だと思うのです。サービスで良好な関係を築くことができれば、新規購入にもつながります。営業が見積もりで頑張らなくても、サービスが良いから福島が選ばれる。信頼で選ばれることが、何より大切だと考えています。

# トピックス~NEWS~

新製品

## シンプルなデザインが魅力的。 インバーター制御 多段オープンショーケース

デパート・スーパー・コンビニなどの小売業、駅・空港・病院の売店などに最適です。  
デザインは、アール基調のシンプルで一体感のあるデザイン。  
2重エアカーテンを採用し、庫内温度のムラを低減。さらにナイトカバーを標準装備し、  
夜間の無駄な消費電力を抑えることで省エネにも配慮しました。  
キャスター付きで、売場のレイアウト変更なども簡単です。



MEU-42GKSA5L  
2016年3月発売



新製品

## 大容量で省エネ設計。 大型冷凍 リーチインショーケース

大容量でアイスクリーム対応まで可能です。イン  
バーター冷凍機搭載、LED照明標準装備により  
大幅に省エネ。バリエーションも充実しています。  
冷凍機内蔵型冷凍仕様に  
業界初の冷媒R410Aを  
採用。



MGC-81FKVN5R  
2015年11月発売

新製品

## 自動洗浄で手間いらず。 自動洗浄機能付 プラスチックラシャー/ショックフリーザー

外食産業、集団給食、小売業、  
食品工場などにおすすめです。  
自動洗浄機能により、庫内の  
洗浄から乾燥まで夜間に自動  
で行います。庫内は、丸洗い  
できるので清潔です。



QXC-012SFLV  
2015年12月発売

展示会

第50回

## スーパーマーケット・トレードショー2016/ デリカテッセン・トレードショー2016に出展しました

2016年2月10日(水)~12日(金) 東京ビッグサイト

スーパーマーケットなど、食品流通業界や小売業界を対象とした  
「スーパーマーケット・トレードショー」。  
「惣菜」という分野に特化した「デリカテッセン・トレードショー」に出展。  
売り場づくりと商品力をサポートするフクシマをテーマに、  
売り場とバックヤードの連携についての提案を行いました。  
IoTに対応したインバーター冷凍機内蔵ショーケースや、  
CO2冷却システム、R410A仕様内蔵型冷凍リーチインショーケース、  
自動洗浄機能付きプラスチックラシャー等を展示しました。



展示会

第16回

## 厨房設備機器展に出展しました

2016年2月16日(火)~19日(金) 東京ビッグサイト

ホテル・旅館・外食・給食・弁当サービス業の方のための合同展示会。  
「見せませす!魅せませす!フクシマのものづくり力」をテーマに展示  
しました。調理実演コーナーでは「冷却調理」を切り口においしい  
食事を効率よく作る機器活用ポイントについて紹介。スペシャル  
ゲストとして「HAL YAMASHITA東京」のエグゼクティブ  
オーナーシェフ山下春幸氏による調理実演も行いました。

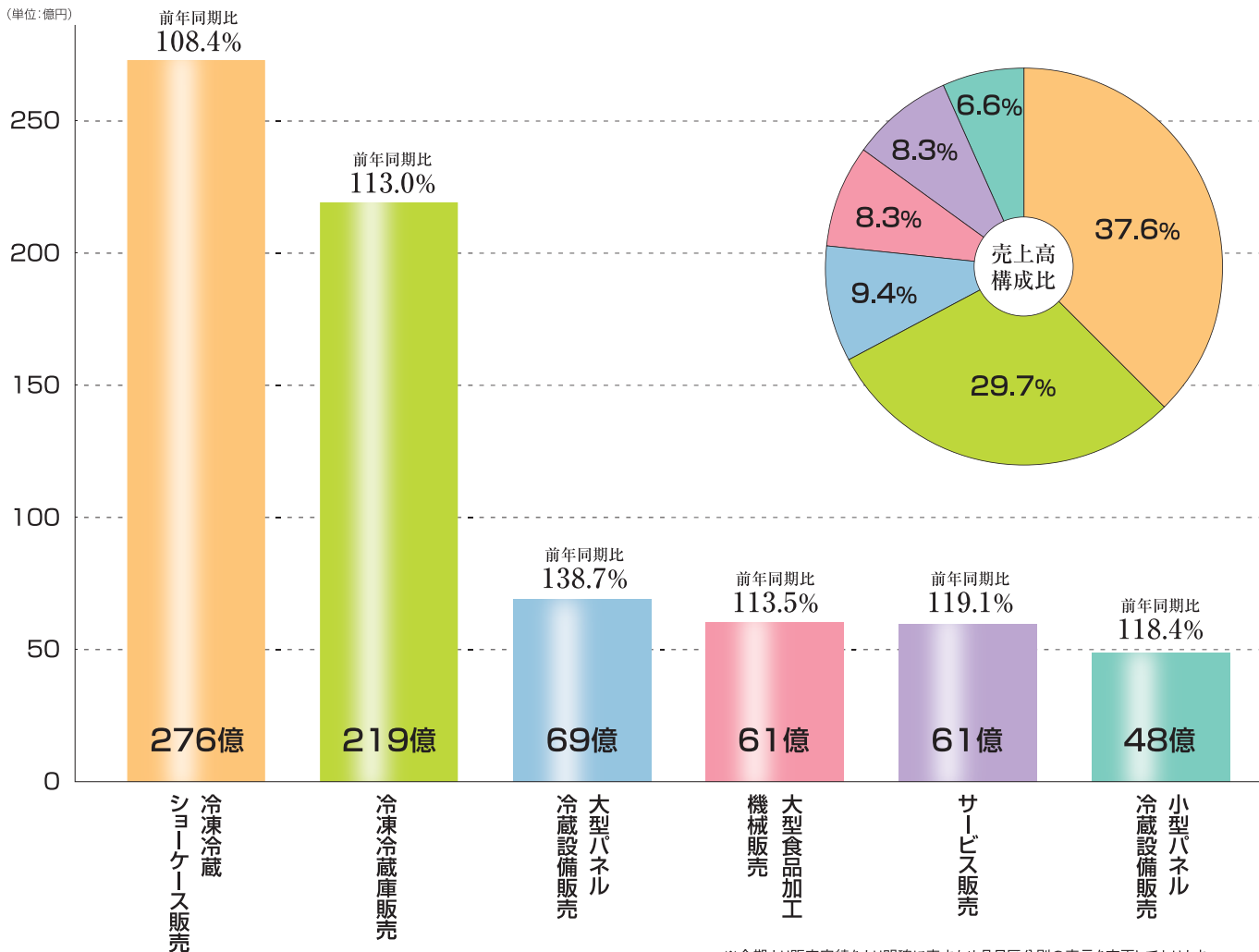


## 祝一周年!

当社が出展しているキッズニア甲子園  
「冷蔵サポートセンター」パビリオンが7月  
20日で一周年を迎えます。この1年でたく  
さんの子どもたちに冷蔵機器のメンテナンス  
を体験していただき  
ました。



# 事業別売上高



※ 今期より販売実績をより明確に表すため品目区分別の表示を変更しております。  
 なお、前年同期比較においては、前連結会計年度を変更後の区分に組み替えております。



オープンショーケース



汎用業務用冷凍冷蔵庫



製氷機



トンネルフリーザー



メンテナンス・サービス

エネルギー・マネージメントシステム (ベムス・ユー)  
**Bems-you**

# 連結財務諸表



## 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成28年3月31日現在)	
<b>資産の部</b>			
流動資産	44,677,551	46,975,623	
固定資産	17,860,264	20,360,074	
有形固定資産	9,750,381	10,995,217	
無形固定資産	181,587	191,381	
投資その他の資産	7,928,296	9,173,474	
<b>資産合計</b>	<b>62,537,816</b>	<b>67,335,697</b>	↑Point.1
<b>負債の部</b>			
流動負債	24,639,295	28,220,622	
固定負債	2,661,637	3,072,952	
<b>負債合計</b>	<b>27,300,933</b>	<b>31,293,575</b>	
<b>純資産の部</b>			
株主資本	31,953,677	33,565,315	
資本金	2,760,192	2,760,192	
資本剰余金	3,062,430	3,168,379	
利益剰余金	26,402,372	30,848,359	
自己株式	△271,317	△3,211,617	
その他の包括利益累計額	2,918,398	2,473,224	
その他有価証券評価差額金	2,685,277	2,830,254	
為替換算調整勘定	267,757	121,385	
退職給付に係る調整累計額	△34,637	△478,416	
非支配株主持分	364,806	3,582	
<b>純資産合計</b>	<b>35,236,883</b>	<b>36,042,121</b>	
<b>負債純資産合計</b>	<b>62,537,816</b>	<b>67,335,697</b>	

### Point.1

売上や受取手形及び売掛金が増加したことによる流動資産の22億9千8百万円増加と、事業予定地等の有形固定資産の取得及び投資その他の資産「その他」に含まれる長期性預金が増加したことによる固定資産の24億9千9百万円増加により、資産合計47億9千7百万円の増加となりました。

### Point.2

冷凍冷蔵ショーケース販売において、再編が進むコンビニ業界への省エネショーケース販売を強化したことや、スーパーマーケットのプロセスセンターや水産加工工場などの設備工事の増加、さらに、物流センターなどの大型冷蔵倉庫の売上が増加したことなどにより、昨年同時期に比べ90億6千9百万円の増加となりました。

### Point.3

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前当期純利益を75億6千5百万円計上し、投資活動や財務活動に66億7千9百万円使用した結果、前連結会計年度末に比べ4億2千4百万円増加し、203億8千1百万円となりました。

## 連結損益計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	
売上高	64,623,585	73,693,046	↑Point.2
売上原価	47,982,274	54,920,762	
売上総利益	16,641,311	18,772,284	
販売費及び一般管理費	10,053,926	11,190,264	
営業利益	6,587,384	7,582,019	
営業外収益	575,497	413,682	
営業外費用	81,382	319,442	
経常利益	7,081,499	7,676,259	
特別損失	226,451	110,337	
税金等調整前当期純利益	6,855,048	7,565,921	
法人税、住民税及び事業税	2,621,807	2,682,270	
法人税等調整額	△138,368	86,655	
法人税等合計	2,483,438	2,768,926	
非支配株主に帰属する当期純利益	40,765	△183,670	
親会社株主に帰属する当期純利益	4,330,844	4,980,666	

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	
営業活動による キャッシュ・フロー	4,518,935	7,241,984	
投資活動による キャッシュ・フロー	△936,791	△3,663,887	
財務活動による キャッシュ・フロー	△847,363	△3,015,703	
現金及び 現金同等物に係る換算差額	354,457	△137,577	
現金及び 現金同等物の増減額	3,089,238	424,814	
現金及び 現金同等物の期首残高	16,867,445	19,956,684	
現金及び 現金同等物の期末残高	19,956,684	20,381,498	↑Point.3

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## Information

### 会社概要

商号	福島工業株式会社
本社	〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島3-16-11
設立	昭和26年12月8日
資本金	27億6千万円
従業員数	連結:1,558名 単体:1,160名(準社員除く) 2016年3月現在

### ネットワーク

支社	東日本(東京)、中部(名古屋)、西日本(福岡)
支店	北海道、東北(仙台)、関東(さいたま)、横浜、千葉、静岡、甲信越(新潟)、北陸(金沢)、関西(大阪)、京都、阪和(南大阪)、神戸、岡山、広島、四国(高松)、西南九州(長崎)、沖縄
営業所	旭川、函館、帯広、青森、盛岡、秋田、郡山、山形、水沢、宇都宮、高崎、水戸、つくば、西東京、厚木、長野、松本、甲府、沼津、浜松、豊橋、三重、岐阜、富山、福井、滋賀、北近畿、奈良、和歌山、西宮、姫路、鳥取、松江、福山、山口、徳島、松山、高知、北九州、久留米、佐賀、大分、佐世保、熊本、宮崎、延岡、鹿児島、石垣
サービスセンター	関西(大阪)、関東(西船橋)
工場	滋賀(水口)、岡山
グループ会社	国内:高橋工業株式会社、フクシマトレーディング株式会社、FSP株式会社、株式会社省研 海外:香港、台湾、シンガポール、韓国、上海、マレーシア、北京、タイ、ベトナム、フィリピン、カンボジア、 海外工場:北京合弁工場、タイ工場

### 役員

代表取締役社長	福島 裕	監査役	竹内 博史
取締役副社長	福島 亮	監査役	濱 政夫
専務取締役	福島 豪	監査役	西井 弘明
常務取締役	片山 充		
取締役	長尾 健二		
取締役	水谷 浩三		
取締役	藤川 隆夫		
取締役	吉年 慶一		

### 株式のご案内

決算日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
配当金受領 株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の確定日は9月30日
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告掲載方法	当社の公告はホームページ <a href="http://www.fukusima.co.jp/ir/advertise.html">http://www.fukusima.co.jp/ir/advertise.html</a> に掲載いたします。
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理 事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031

最新情報、サポート情報、デジタルカタログ等、様々なコンテンツが充実。  
福島工業のホームページを、ぜひご覧ください！  
<http://www.fukusima.co.jp/>

